

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	農業用施設維持管理事業(吉永)		コード	担当課係	吉永総合支所産業建設課管理係
			04-01-01-05	担当者	吉田正人
事業実施期間			電話	84-2513	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり			
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり			
	小項目	農業			
	施策	農業基盤の整備			

事業について		
目的	農道、ため池、頭首工、用水路等農業基盤の管理及び整備を行うことにより、関係住民の安全と受益者の農作業の効率化を図る。	
対象(誰のために)	農家等受益者並びに水利施設下流住民。	
内容	農業用基盤施設(農道、ため池等)の改修整備、維持補修等の実施。	

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
農道管理等	1件		
ため池管理等	1件		
頭首工管理等	1件		
用水路管理等	4件		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,432	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,200	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	3,632	一般財源等	3,632	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.25	人		人
結果指標名	施設修繕等件数			
結果指標量	7			
単位	件			
対前年比	—		0.00%	
事業費	4,172,000	円		円
単位当たりコスト①	596,000	円		円

結果指標名	施設修繕等件数			
結果指標量				
単位				
対前年比	—			
事業費		円		円
単位当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	施設修繕等件数	式又は説明	維持管理のため目標値の設定はできない。
成果指標量	17年度		
対前年比	7		0.00%
到達目標値		到達目標年度	

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	農業生産基盤の適正な維持管理を行うとともに、災害を未然に防止、又、最小に止めるための事業であるが、市のみの危険箇所の把握、維持管理等には限界があるため、地元関係者からの指摘、要望が重要であることから緊急性・必要性を考慮し事業を実施。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	工事等実施にあたっては受益者負担を求めるとともに、修繕等は見積徴収を行い事業実施。工事設計にあたっては契約管理課に審査を受けるなどコスト削減に努め適正な事業の執行により効率性を高める。
	手段の最適化	
有効性の評価	市民の関与の妥当性	地元(受益者等)からの要望により、予算並びに緊急性等を鑑み妥当な事業から実施。場合によっては市のほうからの働きかけも必要である。
	職場の効率化	
総合評価	目的達成度	評価区分 <A~E> <b>A</b>
	成果向上の可能性	
市民参画度	市民参画度	

総合評価	農業用施設は本来の農業目的以外にも農道は生活道路。また水利施設は防火用水、洪水調整、砂防等多機能な要素も兼ね備えるなど重要な施設であるが、大半が集落の上流部に位置し、老朽・機能不足のため池は洪水時には非常に危険であり今後とも本事業による維持管理が必要である。	評価区分 <A~E> <b>A</b>
------	---	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。